

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

事業概要

- 各地における**自律的な研修体制**の構築
- 当該教育委員会において
 - ア 外部専門機関と効果的に提携できる**体制づくり**
→指導と評価の改善に係る授業公開や研修等
 - イ 戦略的な英語教育の改善
→英語教育の実施状況を踏まえた独自の**英語教育改善プラン**の策定
→明確な目標設定に基づき、研修を系統立てて充実
 - ウ その他

英語教育の在り方に関する有識者会議

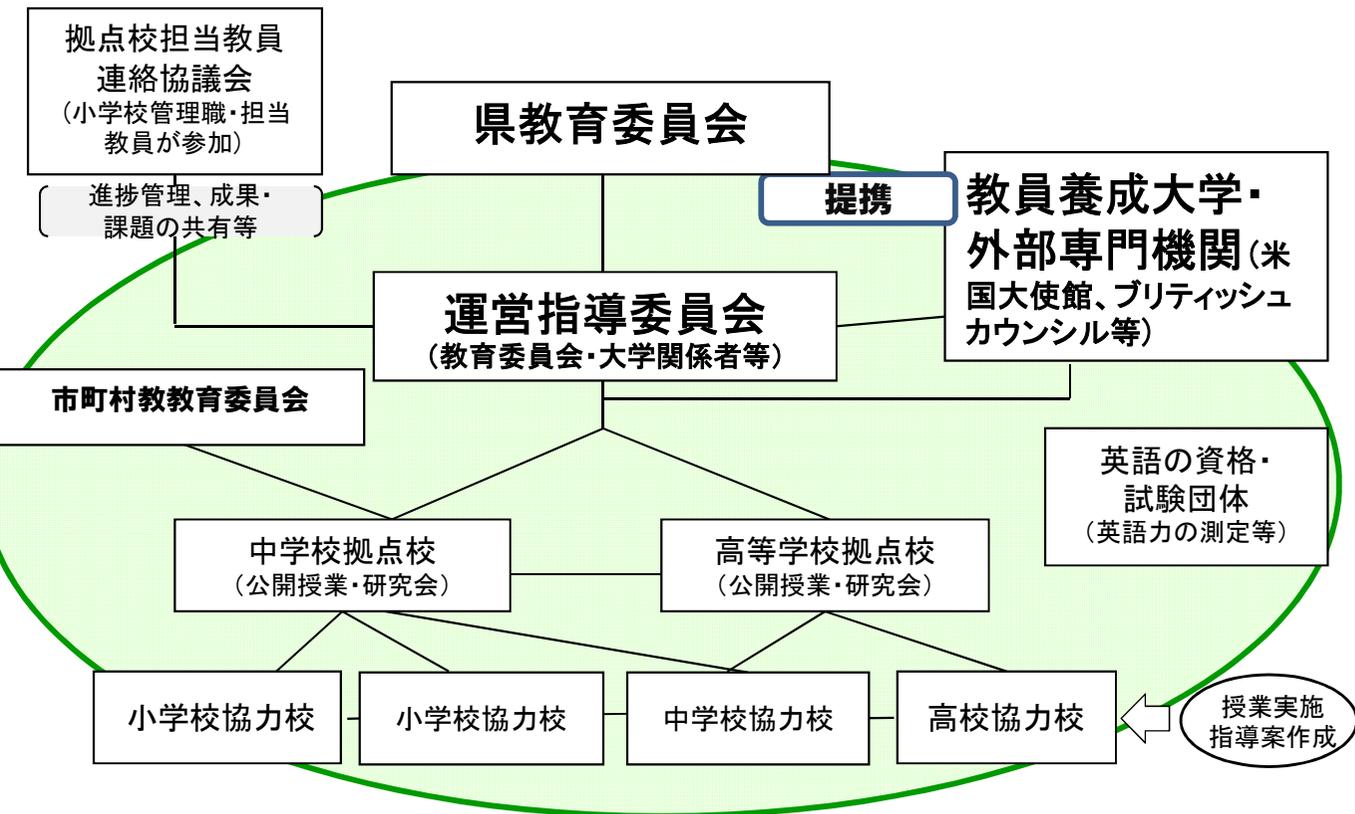
「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告」より

【指導体制の充実に関する小・中・高共通の課題】

- 指定校の研究成果や、大学等の連携による質の高い養成・研修の情報が蓄積されておらず、それらの効果的な活用がされていない
- 大学や外部専門機関との連携により、英語担当教員の養成・研修を改善・充実することが必要
- 地域における戦略的な指導体制の強化が必要

域内研修イメージ-地域における大学等と連携した英語指導力向上の取組- (例)

国による中央研修後、各都道府県ごとに大学・外部専門機関等と連携体制を構築し5年間で全教員を研修



[大学等との連携]

○教育委員会が現場と大学をつなぐ役割を担い、域内の状況やニーズ、学習指導要領の趣旨等について共有し効果的な研修を開発・実施。

○運営指導委員会を中心に、大学等と連携し、専門性を生かした小・中・高校の現職教員向け研修プログラムの開発・充実

- (例)
- ・小学校英語教科化に向けた内容
(「聞く」「話す」に加え「読む」「書く」を指導)
 - ・小中連携によるカリキュラムづくり
 - ・英語で行う授業における指導法(小・中・高)
 - ・話すことや書くことに係る評価の工夫(中高)
 - ・ALT等ネイティブによるティーム・ティーチングの実践研究
等

[各県における目標管理設定・評価の実施]

○教員委員会において、次のような目標設定を行い毎年フォローアップ。

- (例)
- ・外部試験活用による英語力向上(教員・生徒)
 - ・学習到達目標(CAN-DOリスト)策定状況(%)
 - ・パフォーマンス評価実地状況
 - ・生徒の英語による言語活動時間の割合
 - ・教員の英語使用状況の割合
 - ・学校の指導体制の整備
(域内・校内研修体制、担当教科主任の配置など)

国による中央研修と関連付けた域内研修

- 中央研修に参加した「英語教育推進リーダー」が地域における教員の英語力・指導力向上を図る新たな研修プログラムを企画・実施。
- ICTによる自己学習教材の開発・配信。
- 現職教員の「免許更新講習」や「免許法認定講習」へ位置付けていくよう奨励。

英語教育の在り方に関する有識者会議

「今後の英語教育の改善・充実方策について 報告」より

- 例えば、市町村単位で、地域の指導的立場にある教員が複数の小・中学校を受け持ち、英語教育担当指導主事や外部専門家等とチームを組んで指導に当たるなど、地域の実情に応じた柔軟かつ効果的な指導を行う体制づくりが期待される。
- 優れた指導力を有する教員を、地域の研修講師や小・中学校の接続を前提とした専科指導等が可能となる「英語教育推進リーダー」として養成する。
- 「英語教育推進リーダー」と英語教育担当指導主事等が中心となって、小・中・高等学校の連携による研修や、教員委員会と大学・外部専門機関との連携による研修などを実施するとともに、各学校を訪問し、指導計画の作成やCAN-DO形式での学習到達目標を活用した授業改善などについて指導・助言を行うことなどが期待される。

今後のスケジュール（予定）

【域内研修（委託）】

- ・ 1 2 月末以降 予算決定後、
実施要項等発出
- ・ 1 月末 公募締切
- ・ 2 月中 審査
- ・ 3 月初 採択決定
- ・ 3 月末 委託契約締結